

次に、「陸上競技の聖地実現

プロジェクト」につきまして
は、トップアスリートに練習の
成果を発揮する場と、延期され
た鹿児島国体へ出場予定の選手
に、日本トップクラスの選手と
競う場を提供しようという趣旨
で、山縣亮太選手や鶴田玲美選
手ら、陸上の日本トップ選手
を招き、2月28日にジャパン
アスリートトレーニングセン
ター大隅の室内競技場において
「2022ージャパンアスリート
ゲームズインオオサキ」を開催
しましたが、その際男子100
mで優勝した山縣選手が、その
後、鳥取県で開催された大会で、
日本新記録を達成するという嬉
しいニュースも届きました。

と考えております。

次に、東九州自動車道（志布
志〜鹿屋串良間）が7月17日に
供用開始となり、交流人口の増
加や地域産業の振興、輸送時間
の短縮、通勤範囲の拡大に伴う
定住促進、大規模災害時の避難
道など、その効果が大きいに期待
されるところでございます。そ
の効果をより大きなものとする
ためにも「東九州自動車道の早
期全線開通」に向けた取り組み
を関係自治体や団体等と連携を
とりながら引き続き行ってまい
ります。

また、「広域交流活性化セン
ターあすばる大崎」及び「あす
ばる物産館」を4月1日付け
で「阿部商事有会社」に無償
譲渡いたしました。今後は民
間ならではのノウハウと行動力
で、活性化していただけること
を期待しているところでござい
ます。

次に、環境省がまとめた
2019年度の自治体別のリサ
イクル率で大崎町が再び全国一

位に返り咲きました。これもひ
とえに町民の皆様方の日頃から

のご協力の賜物であり、あらた
めてお礼を申し上げます。

この実績を基盤とし、「美し
いふるさと大崎町を持続可能な
まちとして、次世代に引き継ぐ」
ために、本年4月から本格稼働
している「大崎町SDGs推進
協議会」を核とした「SDGs
未来都市」の実現に向けた取り
組みも推進してまいります。

次に、ふるさと納税は、町内
事業者の活力となるとともに、
子育て施策をはじめ本町の進め
る各種施策においても貴重な財
源となっております。令和2
年度は約50億円のご寄付をいた
だくことができました。町の財
源としても大きな割合を占めて
きておりますので、今後もこれ
まで以上に関係各位と連携を図
りながら、魅力ある返礼品の開
発に努めるなど、地域産品PR
と財源確保に努めてまいりま
す。

さて、近年は異常気象の影響

等により、自然災害は激甚化・
多様化・頻発化してきておりま

す。台風シーズンを迎え、町民
の皆様方の安心・安全を確保する
観点から、防災・減災への取り
組みを更に進めることが肝要で
あると感じておりますが、行政
のみでは対応できない部分もご
ざいますので、自助・共助につ
いてもご家族や地域の皆様方と
日頃から語り合い、万が一に備
え、あらゆる準備を整えていた
だければありがたく存じます。

まだまだ厳しい暑さが続くよ
うでございます。コロナ禍で家
にいる時間が長くなりがちです
が、部屋に居ても熱中症が心配
されるなど、心身に不調をきた
す例も少なくありません。どう
かお身体には気を付けて健やか
な日々をお過ごしくださいませ
ようお祈り申し上げます。

令和3年晩夏
大崎町長 東 靖弘
他職員一同